令和３年11月５日発行　毎月１回５日発行　オイスカ通信693号　昭和42年12月27日　第三種郵便物認可　別紙

公益財団法人 オイスカ

FURUSATO！ 11月号

～オイスカ四国のふるさとづくり～

四国センターに仲間が増えました！

みなさん、初めまして！

10月からオイスカ職員となりました山崎敦也です。

今年の４月から９月まで国際協力ボランティア（以下、国ボラ）として活動し、そのうち２ヶ月間を四国研修センターで活動させていただきました。晴れてこの四国の地で職員として採用していただき感謝しております。

「オイスカの現場を自分の目で見て見たい」そう思い飛び込みましたが、その期間を通して私はセンターの生活が好きになってしまったようです。研修生が少なくとも、少ない人数だからこそ、より密接なコミュニケーションを取ることができました。

「人を育む・地球と生きる」この志を胸に私も四国研修センターで皆さまと一緒に楽しく活動して参りたいと思います。

センターでは主に農業をしています。
農業はとても面白いので、これから作業を通してどんどん農業の知識をつけていきたいです！

新たな加工品に向けて

只今、新しい加工品を開発中です。

１つ目はびわのジャムです。このびわは、７月に所長の畑へ行ってみんなで収穫をしたものです。いざ作ってみると途中でびわの色が変わってしまいます。

解凍中に色が変わってしまい、変色せずに作れる方法を試行錯誤しています。

２つ目はセンターでとれた農薬不使用のかぼちゃを使ってパウンドケーキを作っています。しかしこれもかぼちゃと薄力粉の分量が合わず思うようなものが作れません。

失敗続きですが、原因が解れば新たな知識を得ることができるので、失敗をいつも前向きにとらえています。今後、皆様に新たな加工品をお届けできるようにがんばります。（金澤）

～こだわりBOX　承ります～

60周年記念で注文が殺到した「こだわりBOX」を今後も引き続き注文を承る予定です。ジャム・漬け物・おかし等の四国研修センター特製の加工品をぜひお買い求めください！

※値段、中身についてはただ今検討中です。
後日詳細をお知らせします。

オイスカ60周年記念　国際シンポジウム　開催

オイスカ創立60周年を記念して、東京都渋谷区にある国立オリンピック記念青少年総合センターで国際シンポジウムが、開催されました。

今回は、新型コロナ感染拡大防止のため会場参加とオンライン参加の選択で実施されました。四国支部からは、泉　雅文会長、泉　会長秘書の天雲氏と私の計３名が会場参加をしました。

まず、プロローグでは「創立60年のあゆみ」と題した動画（懐かしい活動写真等を添付したもの）を観覧しました。

次に、公開セッションでは、―これからのオイスカの10年―ということで本部職員３名が、今後オイスカが行うべき計画のプレゼンテーションをしました。

続いて、「世界課題の解決に市民がどう関わるか」というトークセッションⅠとⅡに移り、オイスカの支援者である４名の方々と本部職員２名が登壇し、各自の立場で要領よく意見を述べられました。

その後、中野悦子理事長から50年以上にわたり会員を続けてくだっている方々に感謝状の贈呈がありました。四国支部からは、坂出市在住の冨田治子様に贈呈されました。

最後に、渡辺　利夫会長の閉会のあいさつがあり、お開きになりました。（小野）

最後の挨拶をする渡辺会長。

四国研修センターでは、綾川推進協議会の方々と職員がリモートで参加しました。

忽那山草刈り活動　参加

愛媛県推進協議会は、松山空港からも近い忽那山で、「森づくりプロジェクトMt.ＬＯＶＥ10」活動を展開しています。

10月２日（土）四国研修センターから小野所長とマレーシア出身のOB・研修指導員であるビアンさんと３人で参加させていただきました。この日は、下草刈りのボランティア13名と一緒に汗を流しました。

今年は、コロナで夏のボランティア活動が出来ず、葛（クズ）やクキ類が凄い勢いで覆っていました。２時間くらいの草刈りで、さっぱり出来ました。これで春の桜（品種：陽光）の時期は花見が楽しみですね。今年は、宝くじ桜の申請をしており、結果が出れば50本の桜の苗木を植える予定で、ますます花の山に変わっていくと思います。

作業の後の楽しみは、やはり皆さんとの交流も欠かせません。興居島（ごごしま）にある宮嶋会長の別荘２階のベランダでのＢＢＱは最高でした。美しい海が見える景色と皆さんとのお話は時間を忘れるほど楽しいひと時でした。来年は、研修生と参加できることを期待しています。

（四国支部　チェ）

皆さん、暑い中お疲れ様でした！

11月の予定

月日	曜日	イベント名	主催・協力	場所
２日	火	さぬき市立造田小学校との交流	さぬき市立造田小学校	さぬき市立造田小学校交流
３日	水	早明浦ダム草刈り活動	綾歌郡ライオンズクラブ	早明浦ダム
９日	火	支部常任幹事会（第300回）	四国支部	四国研修センター
18日	木	四万十よんでんの森	四国電力㈱	高知県四万十町

OISCA × VALLE BOOKS

「FURUSATO！」11月号　発行
公益財団法人　オイスカ四国研修センター
〒761-2103　香川県綾歌郡綾川町陶5179-1
TEL　087-876-3333　FAX　087-876-3334
E-mail; oiscastc@oisca.org

古本で！
「子供の森」計画サポートプロジェクト

10月 ビアンさんは大忙し！！

こんにちは。ビアンです。
10 月にいろいろな体験をしたのでご紹介します！

17年ぶりの稲刈り

夏が終わって秋になりました。農場では、夏野菜の片付けをしながら冬野菜の準備をしています。10月のメインイベントは稲刈りでした。5月に播種したものがとても大きくなりました。今年は研修生がいないので例年に比べると栽培面積も縮小して行いました。少ない人数での作業（特に草とり）は、とても大変でした。

自分が子供の頃も母国であるマレーシアでお米の栽培はしていましたが、機械はないので全て手作業でします。日本に来て機械を使うことが出来ました。

稲刈りは天候との勝負です。晴れのうちに刈らないとお米が悪くなってしまうので、農業スタッフのみんなで頑張りました。

今は無事に収穫を終え、美味しい新米を食べています。お米以外もそうですが、頑張って育てた野菜等を買ってくれたり食べておいしかったりすると、今までの大変さを忘れるほどうれしい気持ちになります。これからは冬野菜の準備です。寒さが増してきますが、美味しい野菜を作れるように頑張りたいです。

田植えの様子。
今は懐かしい思い出です。

やっぱり新米は美味しい！
農業を頑張るには「食べること」が大切ですね！

海岸林再生プロジェクト研修に参加

10月22日（金）～25日（月）まで宮城県名取市で行われた「海岸林再生プロジェクト」の研修に四国支部のチェさんと一緒に参加してきました。四国センターから松山空港まで行って、そこから直行便で仙台まで行きました。今回四国センター以外にも他の研修センターの職員も参加していて、初めて他の部署の人との交流ができました。

23日（土）は最初にプロジェクトの説明と現場を案内してもらいました。たくさんの松の木が植えられていて、これまでの活動の大変さが伝わってきました。その後、20人余りのボランティアと合流をして溝切作業を行いました。

24日（日）は、香川県立高松北高校の生徒・職員と一緒に作業をしました。

作業終了後、今後のセンター運営のための広報活動や資金・募金集めなどの講義をしてもらいました。他のセンターの職員の意見も聞いて更に勉強になりました。講義を通してこれからの仕事へのモチベーションが上がりました。

今回の研修に参加できてとても良かったです。また行きたいです。

当日は天気も良く、作業日和でした。

作業の説明をする吉田部長

毎年恒例！ 高松北中との交流授業

10月13、20、27日の3回にわけて香川県立高松北中学校（以下、北中）の2年生と交流授業を行いました。

北中とは2019年から交流を開始し、これまでは研修生が母国についての発表や生徒からの質疑応答をしていましたが、今年は未だに研修生が入国していないので、皆さんに満足していただける交流ができるのか不安でした。

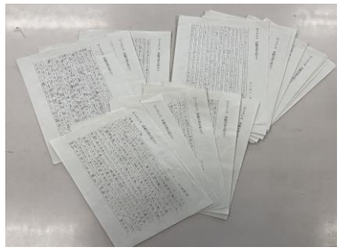
初めに、オイスカが行っていたミャンマー募金にご協力いただいたので感謝状を贈呈しました。

それからオイスカについて説明し、パプアニューギニア駐在代表の荏原から現地での活動についての発表をしてもらいました。この貴重なお話は生徒だけでなく、私たちオイスカの職員にも心惹かれるお話でした。発表後は、生徒さんが現地での苦労や好きな食べ物についてなどたくさん質問をしてくれました。

午後は、農業体験をしてもらいました。夏野菜の片付けやお米の収穫などを一緒にしました。

例年とは変わった交流となりましたが、オイスカと四国センターの活動を感じてもらえたと思います。ありがとうございました。（金澤）

オイスカは農業をするところだと思っていたけど、研修生を育てる場所だということを知ることができました。



後日、生徒さんからお手紙が届きました！
写真と共に感想の一部をご紹介します！

パプアニューギニアの文化を初めて知ることが出来ました。

～パプアニューギニアの発表～

パプアニューギニアに生息している生きものに興味がわきました！

～農業体験～

デニスさんの教え方がわかりやすかった！
他の職員の方も優しく教えてくれて緊張しなかった。

初めてやってみて、農業の大変さがわかりました！
これから食事するときは感謝をしたいです！

今度は家の畑作業も手伝います！

休憩中に食べたシフォンケーキが美味しかった！

母国のために日本へ来た研修生を尊敬します。
今回の交流で国際協力に興味がわきました！

また遊びに来てニャー